

さくひん
作品にこめたおもい

むすめ
娘はことばとコミュニケーションに遅れがあり、がっこうでは能面のような顔で固まっています。小二でLD（学習障害）とASD（自閉症スペクトラム）とわかるまで、周りからは本人が何に困っているのかがわかりませんでした。「やりたい」気持ちは人一倍ありながら、「わからない」「できない」自分を思い知らされ二次障害。いじめにも遭いましたが、「いやなことをされる」ことが『いじめ』だという概念が本人になく、発見が遅れました。高校生の頃、小学生の親たちが「遊んでないで片付けなさい」と叱るのを見て、「サボってるんじゃない、やり方がわからないんだと思うよ。私もやり方を教えてもらったらできたよ。」とぼそっと言ってくれたことから、本人側から見た世界観を教えてもらう機会が増えました。今回は、そんな娘のことばを集めてみました。

げんさく
原作

わたし
私が小学校に入る前、なんかもやもやこまっていた。机を買ってもらっても、へんなかばんを買ってもらっても、何がおきるのか良くわからなかった。たくさん「おめでとう」って言ってもらっても「何がおめでとうなの？」って思っていた。

わたし
私が小学生になった頃、いつもそわそわこまっていた。小学校では、勉強の時間と休み時間がかわりばんこにくるって、長い間知らなかった。だって時間割には書いてないんだもん。どうしていいかわからなくて、みんなのまねをしてたけど、休み時間はだれをまねしていいか、わからなかった。チャイムが合図になってるってことも、ずっとずっと気づかなかったよ。

じゅぎょうじかん
授業時間、いつもひやひやこまっていた。黒板にはたくさんの字、どこを見ていいかわからなかった。机の上は何を出すのかもわからなかったよ。「キョウカシヨ15ページ開けて」っていわれても、「キョウカシヨ」が国語や算数の本のことだって知らなかった。だって表紙には「キョウカシヨ」って書いてなかったもん。

きゅうしよくとうばん
給食当番に当たっても、いつもまごまごこまっていた。おかずは毎日違うんだもん。どうやってよそうの？「テキトー」ってどれぐらい？「わからないことは先生に聞いてね」っていわれても、ききかたがわからなかったよ。

体育の時、いつも おろおろこまっていた。毎回やることが違うんだもん。先生がことばで説明しても、速すぎてわからない。背の順？お名前の順？早いもの順？みんな同じ白い背中、どこに並んでいいかもわからなかったよ。

掃除のとき、いつも おどおどこまっていた。「さぼるなよ」「ちゃんとやれよ」といわれても何がちゃんとかわからなかった。ほうき・ちりとり・机はこび…みんな違うことをしてるんだもん。だれを真似していいかわからなかったよ。

私はずっとずっと びくびくしてた。友だちも先生もたくさんすぎて、顔が見えないの。名前もわからないの。学校が広すぎて、どっちが教室かもわからないの。私が一生懸命マネしても、「それ、ちがうよ」「へんなの」「なにしてるの」っていわれちゃう。みんなから、笑われたり、怒られたりしちゃうんだ。・・・すごく悲しかった。

ある日、休み時間が地獄になった。トイレに行こうとしたら、通せんぼされる。教室で座っていても、何か飛んでくる。私の机はゴミ箱じゃないよ。ゴミ箱はあっちだよ。

わからない。できない。こわい。

学校は怖い、行きたくない。風邪を引いたら休めるかな。寒い寒い冬に、お風呂で水をかぶっていたよ。でも、なかなか風邪引けない。しばらくしてからお母さんが気づいて教えてくれた。「お風呂で水をかぶると体が丈夫になるって言い伝えがあるよ」風邪も引けない体になっちゃったんだ。

ある時、先生が私に教えてくれた。「黒板はこのマグネットのあるところを写してね」「今はこのページを開けてね」

おかあさんもおしえてくれた。「あしたはこんなの習うよ」「先生が聞いたら、これを答えたらいいよ」秘密のメモももらったよ。「あ、これ、昨日お母さんと勉強したところだ！」ちょっと安心した。

掃除の時間は黒板をきれいにする係りにきめてもらった。やり方は先生が教えてくれた。黒板は端っから順番に拭いていくの。色を塗るように。間を空けないように。全部拭いたら、黒板ふきもきれいにするんだよ。こんなふうだね。ぶいいいいん。ぶいいいいん。

「はるちゃん、がんばったね」「おかげで黒板ピッカピカになったよ」「すごいね」「ありがとう」

「私にもできることがあった！」

そわそわ ひやひや まごまご おろおろ おどおど びくびく

もやもやしていた気持ちが、みんな小さくなったよ。学校がすこし楽しくなった。